

## 高等学校 国語

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～ 大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～ 大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は **1**」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 **1** の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

次の(1)～(4)の問いに答えよ。

- (1) 次のうち、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の「第2章 各学科に共通する各教科 第1節 国語 第2款 各科目」「第3 論理国語」の「1 目標」に示されている内容として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は  1

- 1 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるとようにする。
- 3 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 4 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 5 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

- (2) 次のうち、「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)の「第2章 各学科に共通する各教科 第1節 国語 第2款 各科目」「第6 古典探究」の「3 内容の取扱い」の一部として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

2

- ① 必要に応じて、古典の変遷を扱うこと。  
 ② 古典を読み深めるため、音読、朗読、暗唱などを取り入れること。  
 ③ 内容の「思考力、判断力、表現力等」の「B読むこと」の教材は、古典及び近代以降の文章とし、日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含めるとともに、我が国の言語文化への理解を深める学習に資するよう、我が国の伝統と文化や古典に関連する近代以降の文章を取り上げること。また、必要に応じて、伝承や伝統芸能などに関する音声や画像の資料を用いることができること。  
 ④ 内容の「思考力、判断力、表現力等」の「A読むこと」の教材は、古典としての古文及び漢文とし、日本漢文を含めるとともに、論理的に考える力を伸ばすよう、古典における論理的な文章を取り上げること。また、必要に応じて、近代以降の文語文や漢詩文、古典についての評論文などを用いることができること。  
 ⑤ 「A書くこと」に関する指導については、50～60単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。

|   | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | × | × | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | × | × | ○ | ○ |
| ③ | × | × | ○ | ○ | × |
| ④ | ○ | ○ | × | × | ○ |
| ⑤ | × | ○ | ○ | × | × |

- (3) 次の手紙文の空欄①～⑤に入る事柄の適切な組合せはどれか。1～5から一つ選べ。  
解答番号は 3

①

立秋とは名ばかりの毎日ですが、みなさまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。こちらは家族一同元気に暮らしております。

さて、先日は新鮮なお野菜をお送りくださいまして、ありがとうございます。家族一同季節の味を楽しみ、素敵なひとときを過ごしました。毎年のことながら、おじさま、おばさまの心遣いがありがたく感じます。この秋にはお二人でこちらにいらっしやること、お会いできるのを今から心待ちにしております。

この暑さはもうしばらく続きそうですね。どうぞ、お体を大切になさってください。

⑤

③

④

②

- |   |       |      |         |      |         |
|---|-------|------|---------|------|---------|
| 1 | ① あて名 | ② 結語 | ③ 日付    | ④ 署名 | ⑤ 結びの挨拶 |
| 2 | ① 頭語  | ② 結語 | ③ 結びの挨拶 | ④ 署名 | ⑤ 日付    |
| 3 | ① あて名 | ② 署名 | ③ 結びの挨拶 | ④ 結語 | ⑤ 日付    |
| 4 | ① 頭語  | ② 結語 | ③ 日付    | ④ 署名 | ⑤ あて名   |
| 5 | ① 頭語  | ② 署名 | ③ 結びの挨拶 | ④ 結語 | ⑤ あて名   |

- (4) 次の文章は、ある作家の紹介文である。空欄A、Bに入ることばの正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 4

日本画家を志し、のちに文学に転じた A は、昭和5年に発表した自身初の創作集が『新興芸術派叢書』の一冊として上梓されたことを機に、「新興芸術派」の一員に連なった。前述の創作集に収められた『 B 』は、自身の若き日の心情を託した、辛辣でユーモラスな作品である。

- |   |          |          |
|---|----------|----------|
| 1 | A 井伏鱒二   | B 山椒魚    |
| 2 | A 武者小路実篤 | B お目出たき人 |
| 3 | A 芥川龍之介  | B 鼻      |
| 4 | A 小林多喜二  | B 蟹工船    |
| 5 | A 有島武郎   | B 或る女    |

2

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：庭と風景のあいだ

宮城俊作著 鹿島出版会

2ページ12行目から6ページ8行目まで

(宮城俊作『庭と風景のあいだ』より)

(1) 本文中の空欄 、 に当てはまる語の組合せとして最も適切なものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

|     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 5   | 4   | 3   | 2   | 1   |
| A   | A   | A   | A   | A   |
| 対義的 | 包括的 | 包括的 | 包括的 | 対義的 |
| B   | B   | B   | B   | B   |
| 抽象的 | 抽象的 | 主観的 | 多義的 | 多義的 |

(2) —部①について説明したものととして、最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は 6

- 1 土地の上に発現して経時的に変化する無常な大気の動きを指す庭に対し、風景は、物理的な空間の中に形成された比較的明確な領域を意味する。
- 2 客観的な尺度に基づく分析と記述の対象となる風景に対し、庭は、人の身体を尺度とした相対的なスケールにおいて認識され享受される対象である。
- 3 人の身体を尺度とした相対的なスケールでは捉えることのできない景観に対し、庭は、場と同じような機能と性格を有する物理的な空間領域を示す。
- 4 身体的な尺度で捉えられ比較的明確な領域を形成する庭に対し、風景は、土地の上に発現する身体的なスケールを超えた無常の現象だといえる。
- 5 物理的な空間を身体的な尺度で認識・享受するために形成された庭に対し、景観は、土地の千変万化の様態を視覚的に分類したものである。

(3) 空欄②に入る文の順番として最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は 7

- a 一方、明瞭な領域をもたない風景は、基本的にオープンエンドであって、開放的であり続ける。
- b それに先立って、江戸時代中期に日本庭園の技法としての借景が確立されているが、これは庭の外に存在する要素を視覚的に取り入れているに借りているだけで、視点は庭の中に固定されているし、庭の空間領域が外部に向かって開放されているわけではない。
- c また、空間的な領域を形成する庭は、内向的で閉じたものとなることが多い。
- d 近代になって使われるようになった庭園という語の「園」は、くにかまえを部首としていて、そのものずばり囲われた庭の領域を意味する。

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | a | ↓ | d | ↓ | b | ↓ | c |
| 2 | c | ↓ | d | ↓ | b | ↓ | a |
| 3 | d | ↓ | b | ↓ | a | ↓ | c |
| 4 | d | ↓ | b | ↓ | c | ↓ | a |
| 5 | c | ↓ | b | ↓ | a | ↓ | d |

(4) ー部③について述べたものとして、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 

|   |
|---|
| 8 |
|---|

- 1 現代の社会において、風景は感情移入による意味づけや心象風景としての表現を通して私的に所有される一方で、特定の世代や地域に共有される風景観によって、限定的な公共性も付与されている。
- 2 公私の段階的なレイヤー中で、最も私の領域に近い庭は、個人や家族の生活領域に内包されておられ、自然観やライフスタイルの反映を通して、そこに暮らす人々のパーソナリティを象徴するものとなる。
- 3 集落や市街地の風景として現れる街並みには、そこに暮らす人々によって継承されてきた価値観が色濃く映し出されていることから、街並みの風景はそのコミュニティにおけるパーソナルな領域であるといえる。
- 4 庭は公私のうち「私」に近いものではあるが、欧米の近代都市の“Public Gardens”と称される場所のように、その地域に帰属する集団に共有されているという意味で、コモンズの意味を仮定することもできる。
- 5 里山の風景には、集団的な生業としての農耕がもたらす富を持続可能な状態に最適化する物質循環のシステムが表象されているが、これは、風景においてコミュニティな価値が共有されていることがわかる例であるといえる。



(5) 本文の内容について説明したものとして最も適切なものはどれか。1〜5から一つ選べ。

解答番号は 

|   |
|---|
| 9 |
|---|

- 1 庭や風景は、両者の重なりやつながりの中にある意味が、曖昧かつ深淵なものであるとされているが、両者に「間||あいだ」を仮定すると、その両側に対置される概念の関係が際立ち、曖昧さが意識されなくなる。
- 2 庭と風景のあいだにあらわれる最もわかりやすい違いは、人の身体を尺度としたスケールにおいて捉えることのできる対象か、それとも相対的なスケールにおいて捉えられる対象かという点である。
- 3 庭と風景のあいだにある私と公の領域においては、パーソナルな意味づけがされる庭に対して、コミュニケーションな価値を体现する風景という関係が認められるため、そこには単純な二分法が成立する。
- 4 庭と風景に対する人の関わり方の違いをふまえれば、個人や集団の主体的実践が、対象のあり方になんらかの影響を与えていると自覚するとき、その個人や集団にとって、その対象は風景ではなく庭であるといえる。
- 5 そこに関わろうとする立場によって、庭と風景のあいだにある意味は解釈に無限の広がりがあり、それゆえ自らの立ち位置を常に相対化しようと試みることによってのみ、デザインの仕事は成立しうる。

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：新釈漢文大系第22巻 列子  
 明治書院  
 87ページ18行目から89ページ4行目まで

(『列子』より)

〔注〕

- 顔回 ― 孔子の弟子。  
 仲尼 ― 孔子のこと。  
 濟 ― 舟で渡る。  
 觴深 ― 淵の名前。  
 津人 ― 渡し場の船頭。  
 數 ― ここでは「自然の勢いとして、自然に」の意。  
 没人 ― 水に潜って魚貝を取る人。  
 覆卻萬物、方陳乎前、而不得入其舍  
 ― 「色々なものが、しきりに目の前でひっくり返ったり後ずさりしたりしたとしても、少しも影響はない」の意。  
 鉤 摳 ― ここでは、メンコやベーゴマのように、ぶつけ合って勝負を競うこと。  
 鈎 ― 帯を止めるときなどに使うかぎ。おびがね。銀や銅などで作る。

(1) — 部①③⑦について、本文中における読みを送り仮名も含めて現代仮名遣いで表したときの組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 10

- |   |   |   |   |   |     |
|---|---|---|---|---|-----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |     |
| ① | ① | ① | ① | ① | か   |
| ② | ② | ② | ② | ② | か   |
| ③ | ③ | ③ | ③ | ③ | よく  |
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | あとう |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | よし  |
| ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | よし  |
| ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ | ⑦ | よし  |

(2) — 部②⑤⑥の主語の組合せとして、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 11

- |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|----|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |    |
| ② | ② | ② | ② | ② | 仲尼 |
| ③ | ③ | ③ | ③ | ③ | 仲尼 |
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | 津人 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | 顔回 |
| ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | ⑥ | 顔回 |

(3) — 部④に返り点を施したとき、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 12

- |   |   |   |   |   |  |
|---|---|---|---|---|--|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |  |
| ① | ① | ① | ① | ① | 乃若 <sub>レ</sub> 夫 <sub>レ</sub> 没 <sub>レ</sub> 人 <sub>一</sub> 、則 <sub>レ</sub> 未 <sub>レ</sub> 嘗 <sub>レ</sub> 見 <sub>レ</sub> 舟 <sub>一</sub> 、而 <sub>レ</sub> 謏 <sub>レ</sub> 操 <sub>レ</sub> 之 <sub>レ</sub> 者 <sub>一</sub> 也 |
| ② | ② | ② | ② | ② | 乃若 <sub>レ</sub> 夫 <sub>レ</sub> 没 <sub>レ</sub> 人 <sub>一</sub> 、則 <sub>レ</sub> 未 <sub>レ</sub> 嘗 <sub>レ</sub> 見 <sub>レ</sub> 舟 <sub>一</sub> 、而 <sub>レ</sub> 謏 <sub>レ</sub> 操 <sub>レ</sub> 之 <sub>レ</sub> 者 <sub>一</sub> 也 |
| ③ | ③ | ③ | ③ | ③ | 乃若 <sub>レ</sub> 夫 <sub>レ</sub> 没 <sub>レ</sub> 人 <sub>一</sub> 、則 <sub>レ</sub> 未 <sub>レ</sub> 嘗 <sub>レ</sub> 見 <sub>レ</sub> 舟 <sub>一</sub> 、而 <sub>レ</sub> 謏 <sub>レ</sub> 操 <sub>レ</sub> 之 <sub>レ</sub> 者 <sub>一</sub> 也 |
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | 乃若 <sub>レ</sub> 夫 <sub>レ</sub> 没 <sub>レ</sub> 人 <sub>一</sub> 、則 <sub>レ</sub> 未 <sub>レ</sub> 嘗 <sub>レ</sub> 見 <sub>レ</sub> 舟 <sub>一</sub> 、而 <sub>レ</sub> 謏 <sub>レ</sub> 操 <sub>レ</sub> 之 <sub>レ</sub> 者 <sub>一</sub> 也 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | 乃若 <sub>レ</sub> 夫 <sub>レ</sub> 没 <sub>レ</sub> 人 <sub>一</sub> 、則 <sub>レ</sub> 未 <sub>レ</sub> 嘗 <sub>レ</sub> 見 <sub>レ</sub> 舟 <sub>一</sub> 、而 <sub>レ</sub> 謏 <sub>レ</sub> 操 <sub>レ</sub> 之 <sub>レ</sub> 者 <sub>一</sub> 也 |

(4) 空欄A、Bに当てはまる語句として、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 13

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| A | A | A | A | A | 書 |
| B | B | B | B | B | 神 |
| ① | ① | ① | ① | ① | 舟 |
| ② | ② | ② | ② | ② | 淵 |
| ③ | ③ | ③ | ③ | ③ | 遊 |
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | 數 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | 操 |

(5)

——部⑧の解釈として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

14

- 1 そもそも、見かけだけをよくしても、自ら研鑽しなければ、技術は身につかないものだ。
- 2 だいたいにおいて、人は多様な方法でものごとを試みるが、それが実を結ぶことはない。
- 3 何事によらず、外物を重くみてこれに左右されるような者は、心安らかな時がないのだ。
- 4 多くの場合、すぐに身につく技術よりも、努力を重ねて到達した真実を大切にすべきだ。
- 5 一般的に、確かな技術がある人は、その技術があることで常に平常心を保っていられる。

次の文章は、中世の王朝物語『しのびね』の一部である。内大臣の子息であり、世間からの評判も高い四位の少将が、十月に嵯峨野で紅葉を眺め歩いていたところ、風情ある小柴垣の中から、素晴らしい琴の音色が聞こえてきた。興味をひかれた少将は、琴を弾いていたのがその家の姫君であるということを知る。少将が何とかして姫君に直接会いたいと考えているうちに、日が暮れてきた。本文はその続きの場面である。これを読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：中世王朝物語全集10　しのびね　しら露  
笠間書院  
13ページはじめから16ページ4行目まで

〔注〕

の給ふ  
御菌さし出でたり  
いと馴れたる若人  
たちまふ  
尼上

―のたまふ。  
―「敷物を差し出した」の意。  
―ここでは女房のこと。  
―立ち舞う。  
―尼君のこと。

(1) 〱部 a、b の本文中における読みをそれぞれ答えよ。

(2) 〱部 ①〱③の本文中における意味として最も適切なものはどれか。ア〱オからそれぞれ一つ選べ。

- ①
- ア 姫君に会わないではいられず
  - イ 姫君にはけっして会ってはならず
  - ウ 姫君にまったく会うことができず
  - エ 姫君に会うまで普段通りではいられず
  - オ 姫君に会わないといつもの生活には戻れず

- ②
- ア 姫君について知りたいので
  - イ 紅葉が美しく色づいているので
  - ウ 姫君の姿がたいへん美しかったので
  - エ 風情ある小柴垣に心ひかれたので
  - オ 琴の音色を聞いたかったので

- ③
- ア さまよいなさっています
  - イ さまよっております
  - ウ 満足し申し上げます
  - エ 満足なさっています
  - オ 満足しています

(3) 〓部 A、C の助動詞の意味として正しいものの組合せはどれか。ア、オから一つ選べ。

- ① 打消
- ② 完了
- ③ 受身
- ④ 推量
- ⑤ 断定

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ア | A | A | A | A |
| イ | A | A | ⑤ | ④ |
| ウ | A | ⑤ | ② | ③ |
| エ | A | ④ | ③ | ② |
| オ | A | ④ | ③ | ① |
|   | B | B | B | B |
|   | ③ | ③ | ② | ③ |
|   | C | C | C | C |
|   | ① | ② | ① | ② |

(4) 〓部④を、「これ」のさす内容を明らかにして現代語訳せよ。

(5) 〓部⑤「うたてくもの給ひなすかな」とあるが、少将はどのようなことに対してこう述べているのか。少将と女房とのやりとりをふまえ、六十字以内で説明せよ。

(6) 本文の内容に合致しないものはどれか。ア、オから一つ選べ。

- ア 四位の少将が、人を通じて近辺の人から話を聞かせたところ、姫君は、今年中はここで過す予定だと知った。
- イ 四位の少将は、一度も会ったことがない女房に対して親しげに話しかけ、自分を姫君のもとに導くように頼んだ。
- ウ 四位の少将は、長い間姫君のことを思い続けてきたが、それが女房には伝わらなかったため、物思いに沈んでしまった。
- エ 女房は、四位の少将が昨日や今日に姫君を見初めておられるようでもないと感じ、どうやってここにこのような姫君がいることをお聞きになったのかと不審に思った。
- オ 尼上は、四位の少将のような立派な人物が、このように取るに足りない姫君のことを、末永くお世話してくれるはずはないと考え、思い悩んでいる。



5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…ことばへの道 言語意識の存在論

長谷川宏著 講談社

107ページ7行目から110ページ12行目まで

(長谷川宏『ことばへの道 言語意識の存在論』より)

(1) 〓部A、Bのカタカナを漢字になおせ。

(2) —部①とあるが、筆者が「個体として行為することよりも、個体として思考することのほうがずっと困難に感じられる」と述べている理由として最も適切なものはどれか。ア〜オから一つ選べ。

ア 人間の歴史が幅広い思考形態を開拓してきたことで、殻にとじこもった孤独な個我さえも共同性から逃れられなくなってしまったから。

イ 自然的な世界で身体行為にむかうときさえ、思考による観念世界が共同性に根を張っていることをどこかで意識してしまうから。

ウ ことばによる思考の独自性は、ことばの共同性や共同規範としてのことばとはげしい格闘のなかで獲得されるものだから。

エ 思考による観念世界の構築にむかうとき、その世界が共同性から完全に切り離されているという意識はもちえないから。

オ ことばによる思考は、それが独自のものに見えたとしても、共同規範としての自然世界から逃れられないものだから。

(3) — 部②について述べたものとして、適切なものはどれか。ア、オから二つ選べ。

- ア 現実の場においては、行為はすべて有用性によってのみ意味をもつ。
- イ 現実の場においては、行為は行為主体と環境の二項により成立しうる。
- ウ 象徴の場においては、行為の意味は現実の状況や条件に担保されている。
- エ 象徴の場においては、行為主体となる他者の現前が必須の条件となる。
- オ 象徴の場においては、行為は現実行為の停止を前提として成立する。

(4) 次の一文を入れるのに最も適切な場所はどこか。本文中の  ア  ウ から一つ選べ。

同様に、甲があるときある場所で演じた身ぶり、乙がべつるときべつの場所で演じた身ぶりは、形のうえではまったくちがったものでも、同一の意味をもつことがありうる。

(5) — 部③とはどういうことか。「感覚的でありかつ象徴的であるような記号にかかわる主体」と「二重の意識を背負った主体」がさす内容を明らかにしながら、本文の内容に即して、七十字以上八十字以内でわかりやすく説明せよ。

(6) — 部④について説明したものとして、最も適切なものはどれか。ア、オから一つ選べ。

- ア ことばは現実の感覚性・物質性を超えて他者に働きかけるが、ことばの意味は、音声や文字などの綿密で明確な実体としてあらわれる。
- イ ことばは現実の場において感覚性や物質性を失うこともあるが、ことばの意味は、ふつうの言語行為において常に意識にのぼっている。
- ウ ことばは感覚的・物質的に他者に働きかけ、ことばの意味は、その感覚性や物質性を超えようとする意識によってはじめて成立しうる。
- エ ことばは音声や文字を基盤としてあらわれ、ことばの意味は、そのつらなりをぼんやりと見たり聞いたりするとき浮かび上がってくる。
- オ ことばは音声や文字を基盤にいつでも同じあらわれかたをするが、ことばの意味は、受け手の状況によって異なるあらわれかたをする。



令和7年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

第二次選考択一問題の正答について

|    |      |       |    |
|----|------|-------|----|
| 校種 | 高等学校 | 教科・科目 | 国語 |
|----|------|-------|----|

|      |          |          |          |          |          |          |          |          |          |           |           |           |           |           |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 大問番号 | <i>1</i> |          |          |          | <i>2</i> |          |          |          |          | <i>3</i>  |           |           |           |           |
| 解答番号 | <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> | <b>5</b> | <b>6</b> | <b>7</b> | <b>8</b> | <b>9</b> | <b>10</b> | <b>11</b> | <b>12</b> | <b>13</b> | <b>14</b> |
| 正答番号 | 4        | 1        | 4        | 1        | 1        | 4        | 2        | 5        | 4        | 4         | 2         | 4         | 3         | 3         |

| (6) | (5) |   |   |   |   | (4)                | (3) | (2) |   | (1) |   |   |   |   |
|-----|-----|---|---|---|---|--------------------|-----|-----|---|-----|---|---|---|---|
| ウ   | た   | と | に | と | 少 | 四位の少将でいらっしやるのであろうか | ウ   | ③   | ① | a   |   |   |   |   |
|     | こ   | し | 、 | え | 将 |                    |     | イ   | ア | みす  |   |   |   |   |
|     | と   | て | 女 | て | は |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
|     | 。   | 並 | 房 | 姫 | 散 |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
|     | ／   | 一 | が | 君 | り |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
|     |     | 通 | あ | へ | 落 |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
|     | ／   | り | く | の | ち |                    |     |     |   |     | ／ | ／ | ／ | ／ |
|     | の   | ま | 恋 | る | ／ |                    |     |     |   |     | ア | ② | b |   |
|     | 受   | で | 心 | 紅 |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
|     | け   | 紅 | を | 葉 |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
| 答   | 葉   | 詠 | の |   |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
| え   | の   | ん | 色 |   |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
| を   | こ   | だ | に |   |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |
| し   | と   | の | た |   |   |                    |     |     |   |     |   |   |   |   |

4

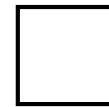
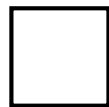
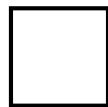
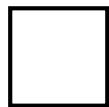
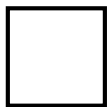
受験番号

得点

令和七年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 国語 解答用紙 (2枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に楷書で記入すること)



| (6) | (5) |   |   |   |   |   | (4) | (3)     | (2) | (1)         |
|-----|-----|---|---|---|---|---|-----|---------|-----|-------------|
| ウ   | 主   | る | 実 | 味 | ば | 感 | ウ   | イ、<br>オ | エ   | A<br><br>抑揚 |
|     | 体   | 観 | 世 | を | に | 覚 |     |         |     |             |
|     | だ   | 念 | 界 | 他 | 接 | 的 |     |         |     |             |
|     | と   | 世 | に | 者 | し | ・ |     |         |     |             |
|     | い   | 界 | 生 | と | つ | 物 |     |         |     |             |
|     | う   | に | き | 共 | つ | 質 |     |         |     |             |
| /   | こ   | 同 | つ | 有 | 、 | 的 | /   | /       | /   | /           |
| /   | と   | 時 | つ | す | そ | に | /   | /       | /   | B<br><br>衰弱 |
|     | °   | に | 、 | る | の | 身 |     |         |     |             |
|     | 80  | 生 | そ | 主 | 象 | ぶ |     |         |     |             |
|     | き   | れ | 体 | 徴 | り |   |     |         |     |             |
|     | て   | を | は | 的 | や |   |     |         |     |             |
|     | い   | 超 | 、 | な | こ |   |     |         |     |             |
| る   | え   | 現 | 意 | と |   |   |     |         |     |             |
|     |     |   |   |   |   |   |     |         |     | /           |

5

得点

受験番号

令和七年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 国語 解答用紙 (2枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に楷書で記入すること)